

## 日本文化体験を組み込んだ日本語コース

エルデネバートル エルデネツェツェグ  
モンゴル日本人材開発センター

### 1. 背景

モンゴル日本人材開発センター（以下、MOJC）では、2012年の秋期コース（10月開講）から「JF日本語教育スタンダード」（以下、JFスタンダード）準拠教材『まるごと 日本のことばと文化』（以下、『まるごと』）を使用した日本語コースを開講した。

JFスタンダードでは、相互理解のためには日本語力だけではなく、異文化理解の能力も必要であると、様々な文化に触れることで他者の文化を理解し尊重する「異文化理解能力」を育成することを重視している。MOJCは、JFスタンダード準拠のコース開講に伴い、JFスタンダードの理念に基づき、コース内で日本文化体験の時間を設けた。これまで単発の日本文化体験イベントを実施していたが、コース内で日本文化体験の時間を設けたのは初めての試みだった。

この報告では、MOJCの日本語コースで実施している日本文化体験の授業実践について報告し、『まるごと』を使用したコースで学習者が体験できる文化活動を紹介したい。

### 2. 実践について

MOJCでは、2012年の秋期コース（秋学期、10月開講）からJFスタンダード準拠日本語コースを開講し、2013年の春期コース（春学期、2月開講）からコース内に日本文化体験の授業を取り入れた。

#### 1) コース内で文化体験授業（表1）を取り入れた理由

- ①JFスタンダード準拠教科書の『まるごと 日本のことばと文化』というタイトルが示すように、『まるごと』は「ことば」と「文化」を別々に学ぶのではなく、いっしょに「まるごと」学ぶことを提唱している。この提唱に基づきコース内に日本文化体験ができる時間を設けた。
- ②これまでも、MOJCで文化体験イベントは行われてきた。しかし、それは日本大使館との共催で、一般市民対象の、主に茶道や華道のような伝統文化を扱ったものであった。一方、受講生からは身近な日本文化（例えば、子どもの遊びやJポップなど）を扱った文化体験講座を望む声が多かった。それに応えるため日本語コース内に文化体験授業を組み込んだ。
- ③MOJCの日本語コース受講生は学生（中学生～大学生）が多いため、情動的にも経済的にも自分で体験できるものに限度がある。
- ④教科書で学んだ言葉を実際に体験することで、言葉だけではなく文化に対する知識・経験が身に付くと考えたため。例えば、日本食として「おにぎり、おすし、みそ汁、梅干し、漬物、そば」などが教科書の中で出てくるが、食文化が違うため、実際に見たり食べたりすることを体験しなければ、言葉に含まれている感覚や背景知識（味、形、作り方）を理解することはできない。梅干しを食べることで日本語の「すっぱい」を体感し、同様に漬物を食べてみることで「しょっぱい」を体感し、そばを食べてみることで箸で食べることの大変さ、難しさを感じることができる。

表1：『まるごと』使用コースで取り入れた文化体験授業

コース名	使用教科書	実施学期	書道	剣玉	浴衣と盆踊り	折り紙	日本食			双六	歌	カルタ遊び
							おにぎりとのり巻き	キャラ弁とみそ汁	ざるそば			
初級1活動	初級1A2か	2013年春	●	●								
初級1理解	初級1A2り	2013年春			●							
入門会話	入門A1か	2013年春	●			●						
入門会話	入門A1か	2013年秋				●					●	
標準1A	入門A1か/り	2013年秋				●	●					
標準1B	入門A1か/り	2013年秋		●		●						
標準2	初級1A2か/り	2013年秋		●			●					
標準3	初級2A2か/り	2013年秋					●				●	●
標準1A	入門A1か/り	2014年春				●		●				
標準1B	入門A1か/り	2014年春			●	●						
標準2	初級1A2か/り	2014年春			●			●				
標準4	初中級A2B1	2014年春							●	●		

※か：「かつどう」編、り：「りかい」編 ※春期コース：2月～5月、秋期コース：10月～1月

## 2) 文化体験の目的

- ①日本文化を体験することにより、学習者の日本・日本語・日本文化に対する関心意欲を高める。教科書に出てきた日本に関する言葉（「折り紙」、「キャラ弁」など）を体験することで、受講生の学習意欲を促進する。
- ②日本文化への理解、ならびにそれを通しての自文化を含むあらゆる文化への複合的視野の涵養を目指す。
- ③従来から希望の多かった文化体験授業を実施することで、学習者の希望に応える。

## 3) 文化体験の内容

具体的な文化体験項目は、

- ・教科書に出たが、学習者には馴染みのない言葉（文化）（例：キャラ弁、ざるそば）
- ・コース終了時に実施しているアンケートの回答から学習者の希望が一番多かったもの
- ・活動に必要な材料・素材・道具などがモンゴルで手に入れられるもの

に配慮した。また、それぞれのコースの中での文化項目の組み合わせに関しては、コース担当の教師チームの話し合いで決めている。その際に考慮していることは、継続受講者にとって内容が重ならないようにすること、できれば日本食を1回含めることである。

## 4) コースでの位置づけ

『まるごと』を使用した各コースで基本的にコースの中間と終了日に2回の文化体験時間を設けている。

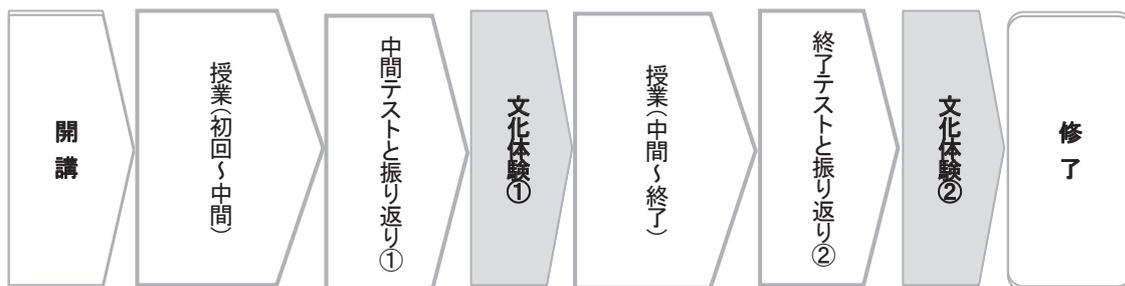


図1:『まるごと』を使用したコースの流れ

### 3. 「標準3」コースで取り入れた文化体験活動

MOJCの『まるごと』コースでは、表1の通り様々な文化体験活動を実施しているが、ここでは、報告者自身が担当した「標準3」コースの文化体験活動について詳しく取り上げる。

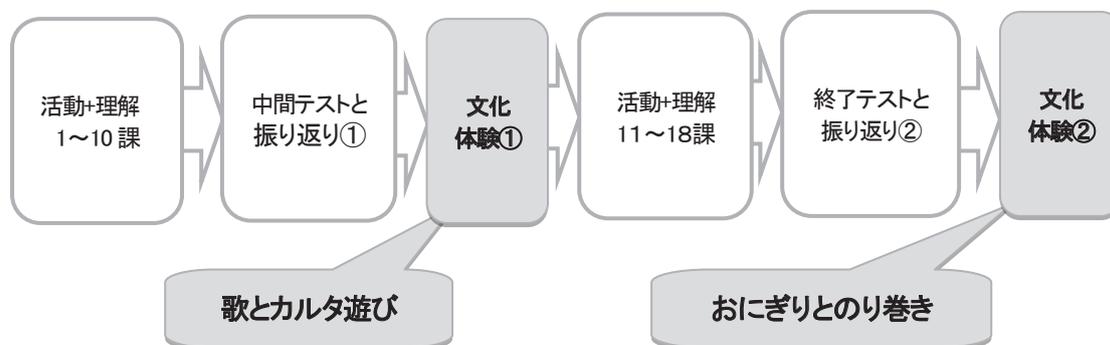
#### 3.1 コースの基本情報

「標準日本語3」コースの概要は以下の通りである。「標準日本語3コース」の日程表は、資料1参照。

レベル	A2
実施コース名	標準日本語3コース
実施日時または期間	2013年秋期：9月30日～2014年1月20日
授業時間	1コマ60分、1回2コマ(120分) 18:30-20:30 週3回(月、水、金)×14週=42回(計84時間)
授業担当講師	モンゴル人講師2人、日本人講師1人
1クラスの学習者数	12人
学習者の属性	性別：男性 3人、女性 9人 年齢：10代 7人、20代 5人 職業：高校生3人、大学生6人、教員1人、画家1人、会社員1人
使用教材	『まるごと 初級2 A2』『かつどう』編、「りかい」編

#### 3.2 文化体験授業の流れ

「標準3」コースでは、以下のように「歌とカルタ遊び」と「おにぎりとのり巻き」の二つの文化体験が組み込まれた。各文化体験は、2コマ120分である。



以下、二つの文化体験授業の流れと内容を紹介する。

### 1) 日本文化体験「歌とカルタ遊び」

授業は、モンゴル人講師1名が担当した。

#### 【準備するもの】

- 📺 YouTube 映像
  - 「風が吹いている/いきものがかり-「ロンドンオリンピック」テーマ曲 (カラオケピアノの伴奏)
  - <http://www.youtube.com/watch?v=1L3AYrJ2WZc>
  - 「いきものがかり ♪風が吹いている [2014 冬期 Olympic Ver.]
  - <http://www.youtube.com/watch?v=7cIKxP9q0eg>
- 📄 歌詞シート
- 📄 PPT 教材 (歌詞、歌の背景)
- 🏆 歌大会賞品
- 📄 ひらがなカルタ
- 📄 授業の振り返りシート (資料4参照)

#### 【授業の流れ「歌とカルタ遊び」】

時間配分	内 容	
10分	今日の授業について	授業の流れを簡単に説明し、目標を確認する。
	歌の導入	学習者の日本の歌に対する知識を引き出しながら、自由に話し、ウォーミングアップをする。
10分	歌を聞く	曲名：「風が吹いている」(いきものがかり) ・歌を聞かせ、歌の世界を想像してもらう。どんな状況で、どんな気持ちで歌った歌か。 ・メモを書いてもらい、何人かに発表してもらう。
15分	歌詞の紹介	・歌詞を配布し、PPTで歌詞を見せながら1行ずつ読む。意味を確認する。 ・歌を聞く。 ・歌全体の意味を考えてもらう。
10分	歌の紹介	・PPTで歌の背景を説明する。どんな時(時代)、どんな状況で、どんな人が作ったか。サビの表現は何を意味しているか。 ・学習者に歌が表現している世界をイメージしてもらう。
15分	歌を歌う	・音楽に合わせて何度か一緒に歌う。 ・難しいパートがあれば、そこだけ歌う練習をする。もしくはサビの部分だけ上手に歌えるように繰り返し練習する。
10分	休憩	
10分	歌大会	・学習者を3グループに分け、グループで音楽に合わせて歌ってもらう。 ・優秀グループにささやかな記念品を贈呈する。
5分	カルタ紹介	カルタを紹介する。
5分	カルタの遊び方	遊び方を説明する。
25分	遊び方体験	・2グループに分け、読札を読む人を1人、じゃんけんで決めてもらい、ゲームを進めてもらう。 ・読札が読まれたら、それに対応する取札を探して取る。 ・全ての札を読み終えたときに、取った枚数が一番多い人が勝ちになる。
5分	最後に	・歌とカルタ遊びの感想を書いてもらう。 ・書いた感想はポートフォリオに入れるように指示する。

## 2) 日本食体験「おにぎりとのり巻き」

モンゴル人講師と日本人講師全員で担当し、チームティーチング形式で行なった。モンゴル人講師は主にモンゴル語での説明や、日本人講師の通訳を担当し、日本人講師はおにぎりとのり巻きを実際に作って見せたり、学習者が体験するときに見回ってアドバイスをしたりした。

### 【準備するもの】

- 🚩 おにぎり、のり巻き、漬物の材料、お茶、調理道具（資料2：準備道具リスト）  
食材はモンゴルで手に入れられるもの。授業前に卵を焼き、キュウリなどと一緒にきっておく。  
漬物も作っておく。
- 🚩 日本料理についてのPPT教材（資料3）
- 🚩 おにぎりとのり巻きの作り方の動画  
「太巻き寿司の巻き方 - How To Make Sushi Rolls」  
<http://www.youtube.com/watch?v=jGI3K1U1KMI>  
「巻き寿司の巻き方（恵方巻）How to wrap the sushi rolls」  
<http://www.youtube.com/watch?v=fRpALj30Ze0>
- 🚩 授業の振り返りシート（資料4）

### 【授業の流れ「おにぎりとのり巻き」】

※MT：モンゴル人講師、JT：日本人講師

時間配分	内容	
10分	今日の授業について	MT：授業の流れを簡単に説明し、目標を確認する。
20分	文化体験の導入	MT：学習者の日本の食文化に対する知識を引き出しながら、ウォーミングアップをする。
	日本料理について	MT:PPT教材を見せながら簡単に紹介する。（おにぎり、のり巻き、日本茶について）
10分	おにぎりとのり巻きの作り方	MT：作り方の手順をYoutube動画を見せながら説明する。
10分	休憩	
35分	作り方体験	JT：おにぎりとのり巻きの作り方を実際に作って見せながら説明する。 MT：必要なとき、通訳する。 ・急須で日本茶を入れる。 ・あらかじめ準備した漬物を用意する。
20分	みんなで食べる	MT：「いただきます」と「ごちそうさまでした」を簡単に説明する。 ・日本茶と漬物と一緒におにぎりとのり巻きを食べる。
15分	後片付け 食べた感想と授業の振り返り	・後片付けをしてもらう。 ・振り返りシートに感想を書いてもらう。 ・書いた感想はポートフォリオに入れるように指示する。

体験授業では、受講生は4人で1グループになる。授業は、①受講生の日本の食文化に対する知識を引き出しながらウォーミングアップし、②その後、PPTで写真を見せながら日本料理について簡単に紹介

した。次に、③YouTube を見せながら作り方の手順を説明したあとで、④実演を見ながら作り方を体験する時間にした。①～③はモンゴル人講師がモンゴル語で進めた。④は日本人講師が日本語で進めた。こうすることで、食文化についての知識を得ること、実際に作って食べること、それに関する生の日本語に触れられることが、限られた時間の中で効率的に行えるようになった。



## 4. 実践の成果

### 4.1 学習者への効果

- ・コース内に文化体験を導入し、実際に体験することにより、学習者の興味を引き出し、日本語学習への意欲を高めることが分かった。モンゴルには日本食レストランが少なく（あっても値段が高い）、日本の食べ物にはあまり馴染みがない学習者が多いが、実際に自分で作り食べてみることで、自分の国の食文化への振り返り、比較などができ、相互理解に役立った。
- ・講義形式の講座と違って、実際に体験することにより、日本文化に対する関心が高まり、興味を持ってくれるようになった。体験授業を行なった何日か後に学習者から「おにぎりの具をアレンジして家族に作ってあげた」との声もあった。
- ・『まるごと』に出てくることが体験できたことによって、授業参加が積極的になった。体験した物が授業で出てくると自信を持って積極的に参加するようになった。
- ・みんなで一緒に体験することによって、クラスの雰囲気が良くなった。欠席が減った。受講継続に繋がった。
- ・ポートフォリオへの取り組みが積極的になった。文化体験記録に何を書いていいか分からなかった受講生でも、自分の作ったおにぎりとのり巻きの写真を撮って入れてあったり、授業後に書いた振り返りシートも入れてあったりした。

### 4.2 モンゴル人講師の成長

日本から招へいた講師が担当する市民対象の講座と違って、コース内でモンゴル人講師が主導権を持って日本人講師と一緒に授業計画を立て準備することで、モンゴル人講師の日本文化に対する知識・経験が広がった。何回か日本人講師とチームティーチングをすることや、事前準備の時に日本人講師のアドバイスを受けておくことで、日本料理のように実演が必要ない文化項目（双六、歌、カルタなど）

については、文化体験授業をモンゴル人講師だけで実施する自信につながった。

#### 4.3 MOJCF 講座運営への波及効果

モンゴル人の受講生が作成した作品（書道、折り紙、キャラ弁の写真など）を体験授業後にMOJCのロビーで展示した。モンゴル人が作成したもの、視覚に訴えるものを展示できたことによって、多くの来館者の興味を引くこととなり、コース広報に繋がった。

#### 5. 問題点と今後の課題

2の3)で文化項目を選ぶとき配慮したことを3点挙げた。しかし、実際に文化体験授業として実施できるかどうかは担当講師による。つまり、担当講師の性別や趣味、興味、特技、経験などに左右されるのである。また、例えば、流しそうめん、餅つきなどのように道具や材料が揃わないこともある。多様な要望、嗜好を持つ受講生に対して、実施できる文化体験授業が限られてしまうことは問題であろう。今後も学習者の興味を引くような文化体験授業ができるように取り組んでいきたい。

今後の課題として、コースデザインの際に文化体験をどのようなタイミングで取り入れるかということも大切である。例えば、書道はコースの2、3回目に導入することにより、文字学習への抵抗感が減る。

また、コース担当講師だけではなく、モンゴルに住んでいる日本人の方々をゲストティーチャー、ビジターとして招き、文化体験授業を、受講者が『まるごと』で学んだ日本語を実際に使用できる場、日本人とモンゴル人日本語学習者が交流できるコミュニケーションの場にしていきたい。

## 資料1：「標準日本語3コース」日程表

※活動：「かつどう」編、理解：「りかい」編

回	日にち		内容
1	9/30	月	開講式、コースの説明、ポートフォリオ紹介、教科書の説明 L1：いい名前ですね（活動）
2	10/2	水	L1：いい名前ですね（理解）
3	10/4	金	L2：めがねをかけている人です（活動） ※文化体験ヒントの紹介、FBグループ紹介
4	10/7	月	L2：めがねを かけている 人です（理解）
5	10/9	水	L3：おすすめは 何ですか（活動）
6	10/11	金	L3：おすすめは 何ですか（理解）
7	10/14	月	L4：どうやって 食べますか（活動）
8	10/16	水	L4：どうやって 食べますか（理解）
9	10/18	金	L5：ぼうしを 持っていった ほうが いいですよ（活動）
10	10/21	月	L5：ぼうしを 持っていった ほうが いいですよ（理解）
11	10/23	水	L6：イルカの ショーが 見られます（活動）
12	10/25	金	L6：イルカの ショーが 見られます（理解）
13	10/28	月	L7：雨が ふったら、どう しますか（活動）
14	10/30	水	L7：雨が ふったら、どう しますか（理解）
15	11/1	金	L8：コンサートは もう 始まりましたか（活動）
	11/4	月	モンゴル・日本センター 休館日
16	11/6	水	L8：コンサートは もう 始まりましたか（理解）
17	11/8	金	L9：お正月は どう していましたか（活動）
18	11/11	月	L9：お正月は どう していましたか（理解）
19	11/13	水	L10：いい ことがありますように（活動）
20	11/15	金	L10：いい こと が ありますように（理解）
21	11/18	月	テストと振り返り（活動）①
22	11/20	水	テストと振り返り（理解）①
23	11/22	金	日本文化体験①「歌とカルタ遊び」
24	11/25	月	L11：そうじ機がこわれてしまったんです（活動）
25	11/27	水	L11：そうじ機が こわれて しまったんです（理解）
26	11/29	金	L12：こっちの 方が 安いです（活動）
27	12/2	月	L12：こっちの 方が 安いです（理解）
28	12/4	水	L13：この お寺は 14世紀に たてられました（活動）
29	12/6	金	L13：この お寺は 14世紀に たてられました（理解）
30	12/9	月	L14：この 絵は とても 有名だそうです（活動）
31	12/11	水	L14：この 絵は とても 有名だそうです（理解）
32	12/13	金	L15：電気が ついたままですよ（活動）
33	12/16	月	L15：電気が ついたままですよ（理解）
34	12/18	水	L16：フリーマーケットで 売ります（活動）
35	12/20	金	L16：フリーマーケットで 売ります（理解）
36	1/6	月	L17：この 人、知っていますか（活動）
37	1/8	水	L17：この 人、知っていますか（理解）
38	1/10	金	L18：どんな 子どもでしたか（活動）
39	1/13	月	L18：どんな 子どもでしたか（理解）
40	1/15	水	テストと振り返り（活動）②
41	1/17	金	テストと振り返り（理解）②
42	1/20	月	日本文化体験②「おにぎりとのり巻き」、閉講式

資料2：日本文化体験②「おにぎりとのり巻き」 材料と準備道具リスト

	材料名/道具名	量/数 (12名分)	備考
おにぎりとのり巻き用	米	3キロ	授業開始2時間前に洗い、30分前に炊き始めておく。
	梅干し	1パック	
	ツナ/シーチキン	2缶	
	マヨネーズ	1コ	
	のり	50枚入り1袋	
	ふりかけ	2袋	
	卵	20個	
	油揚げ	1袋	
漬け物用	きゅうり	4本	
	しいたけ	200g	
	白菜	中1株	
	人参	100g	
	大根	中1本	
味付け用	しお	1袋	
	しょうゆ	1本	
	紅ショウガ	1袋	
	ショウガ	1コ	
お茶	日本茶葉	1袋	
道具	炊飯器	3台	グループで1つ
	電気ポット	1台	
	急須	1コ	
	しゃもじ	3本	グループで1つ
	包丁	3丁	グループで1つ
	まな板	3	グループで1つ
	まきす	15 (人数分)	
	ラップ	3	グループで1つ
	ティッシュ	3	グループで1つ
	ウエットティッシュ	3袋	グループで1つ
	消毒用ハンドスプレー	1	
	皿/入れ物	5	ツナ、梅干し、ふりかけなどを入れる。
	紙皿	15枚 (人数分)	
	紙コップ	15コ (人数分)	
使い捨てフォーク	15本 (人数分)		

日本文化たいけんじゅぎょう

おにぎりとのり巻き



1

今日のじゅぎょう

- 日本料理について
- おにぎり、のり巻き、日本茶、つけものについて
- おにぎりとのり巻きの作りかた

きゅうけい

- おにぎりとのりまきを作りましょう!
- みんなで食べましょう!
- 食べたかんそうを話しあいましょう!
- ふりかえりシートを書きましょう!

2

日本料理



3

おにぎり



4

いろいろな具(ぐ)と形(かたち)があります。

おにぎりの形分布図



5

のり巻き



6

いろいろな具(ぐ)があります。



7

つけもの



8

日本のお茶

いろいろなお茶があります。

- せん茶
- ほうじ茶
- げんまい茶



9

- ビデオを見ながら、おにぎりとのりまきを作りましょう! 
- みんなで食べましょう!

10

**利用した写真の URL:**

スライド1 : おにぎり

<http://blog-imgs-70.fc2.com/x/x/x/xxxkaigaixxx/201304091733330b1.jpg>

海苔巻き

<http://www.additive99.com/wp-content/uploads/2014/09/hutomaki02.jpg>

スライド3 : 寿司

<http://www.gurmania.ru/sites/www.gurmania.ru/files/article/38891/main-image/d8jk71000000fqn.jpg>

そば

[http://prw.kyodonews.jp/prwfile/release/M000368/200807317538/\\_prw\\_img1.JPG](http://prw.kyodonews.jp/prwfile/release/M000368/200807317538/_prw_img1.JPG)

天ぷら

<http://www.kairport.co.jp/kanko/tokyo/images/gourmet004-01.jpg>

ラーメン

[http://img2.bellemaison.jp/product/pic\\_b/411201303/771075pb01\\_4111303.jpg](http://img2.bellemaison.jp/product/pic_b/411201303/771075pb01_4111303.jpg)

スライド5 : おにぎりの形

[http://img.allabout.co.jp/gm/article/26219/onigiri\\_map.gif](http://img.allabout.co.jp/gm/article/26219/onigiri_map.gif)

スライド7 : 海苔巻きの具

<http://tokyuhotels-blog.com/miyakojima-r/%E5%A4%AA%E5%B7%BB%E3%81%8D%E5%AF%BF%E5%8F%B8%E2%91%A0.jpg>

スライド9 : 漬物

<http://www.honobono.co.jp/2009/11/22/tukemonoset02.jpg>

資料4：「標準3コース」文化体験授業で使った振り返りシート

【日本文化体験「歌とカルタ遊び」 振り返りシート】

2013年秋期 標準3コース『文化体験授業』	名前[.....]
<b>『風が吹いている』</b>	
1. 歌の世界を想像しましょう。どんな状況での、どんな気持ちを歌った歌でしょうか。自分の考えを書いてください。 Дууны талаар төсөөлцгөөе. Ямар нөхцөл байдалд, юуны тухай өгүүлсэн дуу болохыг өөрийн бодлоор чөлөөтэй бичнэ үү.	
<input type="text"/>	
2. 最後に歌を歌った感想、気持ちを書きましょう。次回、どんな歌を習いたいですか。 Төгсгөлд нь өнөөдрийн дууны талаар, дуулахад ямар байсан, ямар сэтгэгдэл төрсөн зэргээ чөлөөтэй бичнэ үү. Мөн дараа ямар дуу сурахыг хүсч байна вэ?	
<input type="text"/>	
3. 教師から/Багшаас/	
<input type="text"/>	

【日本食体験「おにぎりとのり巻き」 振り返りシート】

Хичээлийн бататгах хуудас
№: _____ Нэр: _____
<i>Японы соёлоос танилцуулах сургалт 日本文化たいけん</i> “Онигири болон макизүши” おにぎりと のりまき 2014.1.20
きょうのじゅぎょうで おにぎりとのりまきを みんなで いっしょに 作って 食べました。どうでしたか。 Бид өнөөдрийн хичээлээр “онигири” болон “макизүши”-г хамтдаа хийж идлээ. Ямар санагдсан бэ?
_____ _____